

## 1.在宅の価値はスピリチュアリティ

## 2.かかりつけ医こそ在宅緩和ケアの担い手

## 3.連携は「伝達」から「協働」へ

### 緩和ケア研修会 2008.3.18

大曲診療所 奥野誠

## 在宅の価値はスピリチュアリティにある

- スピリチュアル・ペイン  
自己の存在と意味の消滅から生じる苦痛(無意味、無目的、無価値)  
※村田久行(京都ノートルダム女子大 人間文化学部)
- 魂を癒す力は社会や人との関係性の中にある

自宅での療養が持つ意味

- ・患者も家族も“生活”の中に在ること
- ・自分が生涯かけて築いた家や家庭で過ごすこと
- ・地域との関係の中で過ごすこと
- ・趣味の思い出や仕事の功績がすぐそばにあること
- ・家族に看取られること、命を伝えること

## かかりつけ医こそ在宅緩和ケアの担い手

- かかりつけ医の特徴(連続性、地域、家族、信頼)
  - ・患者の価値観、仕事や趣味など人生の軌跡をよく知っている
  - ・患者の家族のことをよく知っている
  - ・患者の家族とは今後もしき合っていく
  - ・地域のことをよく知っている
  - ・患者・家族との信頼関係ができていく
  - ・家の近所にクリニックがある
- かかりつけ医だからこそ提供できる価値がある！

スピリチュアル・ケア

グリーフ・ケア

安心感

## 訪問診療受け入れの流れ

連携室より往診依頼の打診

⇒

診療所内で協議・決定

⇒

県中でカンファレンス

⇒

退院

協議のための情報収集

- 年齢・性別
- 住所
- 疾患
- 医療・処置内容

カンファレンス参加の目的

- 病院医師・スタッフとの顔合わせ
- 患者・家族との顔合わせ
- 患者・家族の想いを聞く
- 治療内容への質問と調整依頼
- 看護内容への質問と調整依頼
- 使用機器・物品の確認

## 連携は「伝達」から「協働」へ

情報の伝達、患者のバトンタッチ

病院スタッフ

在宅スタッフ

「伝達」

■在宅へ向けての医療・看護内容の調整  
■家族への指導

病院スタッフ

在宅スタッフ

「協働」

■在宅継続困難時の入院ベッド  
■病院主治医や緩和ケアチームのコンサルテーション

## まとめ

- 在宅緩和ケアの価値はスピリチュアリティ
- かかりつけ医こそ在宅緩和ケアの担い手
- 連携は「伝達」から「協働」へ

もっと多くの人が、住み慣れた地域・自宅で療養し、馴染みのかかりつけ医がそれを支える...  
そんな地域をつくっていきましょう！